

【めざす子ども像】

「真・善・美」を追求し、
どう生きるのかを問い続ける子ども

- ① 自ら考え、探究し、本質を捉える
- ② 他者を尊重し、より良い判断をし、決断、行動する
- ③ 豊かな発想で、新たな価値を生み出す

【真・善・美とは】
「真」：本質を捉える目
「善」：より良い判断
「美」：理想とする姿

【教育理念】
人は
人を浴びて
人になる

【形原学区小中一貫教育目標】

ふるさとを愛し、知・徳・体の調和のとれた子どもの育成

【スローガン】 絆を深め、ともに伸びる

【形原学区小中一貫教育の三本柱】

「あいさつ」「考動(自ら考え、動く)」「学び合い」

「あいさつ」

かかわりを大切に、ふるさとを愛する心を育む

- コミュニケーション力向上の取組
- 学校・家庭・地域の目標とビジョンの共有 (CS)
 - ・学校運営協議会での熟議
- 地域教材(ひと・もの・こと)との対話による学びや体験的な活動の取組
 - ・地域探究学習、防災学習
- ふるさとの良さを味わう
 - ・学校支援ボランティアの授業参加
- 地域貢献の楽しさや喜び
 - ・地域発地域学校協働活動への参加

「学び合い」

確かな学力(知・徳・体)の定着を図る

- 自らすすんで学ぶ姿勢
 - ・「主体的・対話的で深い学び」を生む探究的な学習
 - ・「わからない」を大切にすべての生徒に学びを保障する授業づくり
- 考え議論する道徳
- 体力向上の取組
- 食育・保健指導の充実
 - ・「学校保健委員会」の取り組み
 - ・委員会活動による啓発

主体的に
課題を解決しよう
とする子ども

どうしたの？
やれることは何？
(状況整理・自己理解)

自分の考え

どうしていくの？
やるべきことは何？
(判断・決断・行動)

自分で考える機会

どうしたいの？
やりたいことは何？
(目標設定)

安心できる環境

できることはある？
(共感・励まし)

地域と
ともに考える
学校

地域学校協働活動

- 地域人材の活用
 - ・学校支援ボランティア、地域コーディネーター
 - ・関係機関、総代会、企業等との連携
- 地域資源の活用
 - ・文化財見学、職場見学、町歩き
 - ・幼保との異校種間交流
- 地域への貢献

魅力的な教職員

- 自ら考え判断・行動
- 愛と情熱 ○協働(チーム形原)
- 健康で明るい楽しく
- 豊かな教養と高い専門性
- 時代のニーズを把握する感性
 - ・人間性・社会性
 - 危機管理能力

チームで
動く・考える
・学び続ける
教職員

「考動(自ら考え、動く)」

自ら考え、判断し、決断、行動する力を育む

- 自分の考えをもつ・他の考えを認める・失敗を恐れず挑戦
- 居場所・絆・自分づくり
- 体験的な学習・自治・縦割
- ・地域に働きかける活動
- うるおいと安心感のある環境づくり

アクティブラーニング

令和の日本型教育(個別最適な学びと協働的な学びの一体化)

学力の3要素(知識・技能、思考力・判断力・表現力等、主体性・多様性・協働性・学びに向かう力・人間性等)

ワーク・ライフ・バランス

教員のウェルビーイングの向上

(教員としてのやりがいにつながる業務改善・多忙感解消)